

日本の速記

2026

1

No.1024



理事長年頭所感 役員挨拶

シリーズ 議会豆知識 68「議会改革」

第 231 回速記技能検定結果

第 116 回全日本大学速記競技大会概要報告

「日本の速記」2025 年総目次

公益社団法人 日本速記協会

目次

日本の速記2026年1月号

年頭所感「まずはダイエットから」

理事長 保坂 正春 1

役員挨拶 2

シリーズ 議会豆知識68「議会改革」

理事 内田 一夫 4

第231回速記技能検定結果 6

同 講評 7

同 問題文 10

第232回速記技能検定のお知らせ 17

まほろば速記通信㊼「シン仮名を考案しました」

前川 純二 18

かぞ生涯学習フェスティバル2025に出展しました

前野 貴子 20

第116回全日本大学速記競技大会概要報告

大会実行委員長 関西大学 首藤 綾香 22

令和8年度第2回定例理事会 議事概要 24

「日本の速記」2025年総目次 26

協会本部日誌／伝言板／編集後記 30

第7回速記交流合宿のご案内

表 紙

『FOXP2』

あけましておめでとうございます。

東京都小平市の郷土芸能であり無形民俗文化財「鈴木ばやし」の狐と獅子舞を描きました。白狐が神の使者、赤狐は野生とのことです。

FOXP2とは言語遺伝子とも呼ばれ、文法能力や発話機能に係する遺伝子とみる研究があるそうです。とにかく、このフォックスピーターから連想し狐を2匹描いたのです。

(千葉大二郎・硬軟)

年頭所感

⑤ 理事長 保坂 正春

申

まずはダイエットから

あけましておめでとうございます。
昨年は、テレビ番組で速記が取り上げられることが多く、中でもNHKの朝ドラ「あんぱん」では、ヒロインが速記を学び、活用するシーンが何回も出てきました。

SNSには、「速記ってすごい」「速記を初めて見た」などの投稿がたくさん寄せられ、協会ではホームページに「あんぱん」の特設ページを作り、速記の紹介と体験のキャンペーンに努めたところです。一連の

テレビ番組のおかげで、速記に関心を持ってくれた人が増えたのではないかと思います。

さて、今年は「丙午」の年です。

「丙」と「午」はどちらも「火」の性質を持ち、強大なエネルギーを秘めていることから、現状を打破し、新しい挑戦をするのによい年と捉えられています。協会にとっては、積年の課題の解決に向けて挑戦をする年ということになるでしょうか。

私は、本年十一月に理事長として五期十年の区切りを迎えます。「十年一日の如し」という言葉がありますが、協会は十年前も同じ課題を抱えていることに愕然とすると同時に、自分の無力さを痛感しています。もちろん、協会の課題は根深く、容易に解決できるものではありませんが、対症療法に終始し、根本的な解決に向けた道筋を示せなかったことには忸怩たる思いがあります。

しかし、過ぎてしまったことを悔いている時間はありません。弱った足腰で重い体重を支えようとして、前のめりに倒れそうなの今の協会には、体力の強化も必要ですが、それ以上にダイエットが必要です。

そこで、本年は、可能な限り支出の抑制に努めるとともに、「日本の速記」のデジタル化と発行回数の見直しを実現し、費用と事務にかかる負担を軽減します。

事業については、全体的な見直しを図りつつ、速記検定の改革、みんなの速記推進事業の充実、用字例の発行作業に重点を置いて取り組むこととし、併せて、「AI時代における速記」について、会員の皆様の御意見を伺いながら、協会としての考えをまとめていきたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



㊦ 佐藤 俊紀 西

今年の年賀状の図柄に使われた左馬、千客万来、商売繁盛、巾着袋に似ているところから富の象徴とか。当協会もあやかりたいと思いつつ、やはり自ら動くことが大事だとないう知恵を絞る日々。皆様のご支援・ご協力、よろしくお願ひいたします。

㊦ 有次 勇 寅

新年あけましておめでとつ、ございます。理事となって二度目の新年を迎えました。昨年は「『あんぱん』効果」もあり、速記への関心が一時的に高まっ

た年でした。今年も引き続き、興味を持ってくださった方々を具体的な行動へとつなぐ橋渡しをしていきます。

㊦ 内田 一夫 未

インターネットで情報は簡単に収集できます。でも大事なものはその情報が正しいものかの確認を怠らないことです。議会図書室は必置ですが、本を揃えることが使命ではありません。議員に対するレファレンスサービスの重要性についても認識していただくことを切望します。これは会議録にも共通する問題です。本年もよろしく願ひいたします。

㊦ 大熊 克彦 巳

昨年より用字例委員会の委員に選任いただき、ただいま改訂に向けた会議を重ねております。感想は、皆さん奥が深い、この一言に尽きます。私も一

日も早く皆様に追いつけるよう努力してまいります。

㊦ 大橋 恵一 兔

今年のエとは、うま年ですね。美しい馬が疾駆する姿を見ると、とても感動します。昨年の後半は、杖や車椅子を使うことを経験しました。普通に歩くことができるのは、本当にすばらしいことです。大地をしっかり蹴って歩いてまいります。

㊦ 久住 和輝 亥

本年から北海道に居を移すことになりました。慣れ親しんだ高田馬場の協会事務局へ通えなくなるのは寂しいですが、ウェブ会議などを活用して微力ながらお役に立てればと思います。

変えるべきものは何か、変えるべきでないのは何か、引き続き協会の在り方を問い直す一年にしてまいります。

新年早々ダークな話題で申し訳ないが、十年前は七百人ほどの会員が遂に五百人を切った。年会費で単純計算すると二百四十万円の減収だ。「桃源暗鬼」を見たせいか、地獄の蓋が開いてしまふような恐怖心が常にある。生き残るためには、意識「革命」が要だ。

保田 良春
亥

山崎 惠喜 未

二〇二六年の冬季オリパラを楽しみにしているが、気候変動の影響で、二〇四〇年頃に冬季オリパラを行えるのは世界で十か国に減るといふ。北海道の雪質も私が子供のときから激変し、降り方までおかしくなっている。地球の体質を元に戻すために何かしよう。

長年毎月紙冊子でお送りしていた
 ⑥ 鷲尾みなみ 西

「日本の速記」も、今年いよいよデジタル化が始まります。令和八年が「日本の速記」のデジタル元年になります。日本速記協会が会員の皆様にとってもっと身近なものになるように、内容の充実が図れればと思います。

は箱守晴人子

令和八年。語呂合わせで、〇一八（レイワ）に今年の和暦「八」を足すと西暦二〇二六年に、二〇二六年から〇一八を引くと「八」になるようです。協会も「たくさん」や「末広がり」の意味を持つ「八」の字にあやかりたいものです。

④ 谷中 和也 子

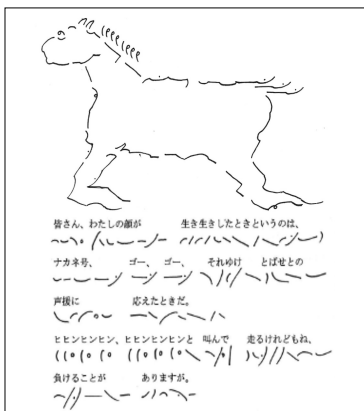
時の流れは速く、手書きの時代から和文タイプや英文タイプ、パソコン、さらに現代ではAIの進化と社会への普及、すべて人間が開発したものです。

しかし、文字を書くという作業はなくてはならないものと思います。

本年も当協会の更なる発展を祈念いたします。

中根 康雄
亥

「速記はもう、シよう来は、ウマミがなく、ウダツが上がらんで、やつトラれん」と言わザルを得ないともいえませんが、速記の評価をトリ返せないとはイヌヌことはヒツジよう（必定）ですよネ。



シリーズ

■議会豆知識 68

議会改革

年の初めにあたり今回は「議会改革」をテーマにします。

鳥取県知事や総務大臣を務めた片山善博氏の講演を聞いたことがありますが、そこで片山氏は議会改革とは議会のミッシェンを再確認し、その実現のための方策を探すことである、と話されていました。

議会改革というと議員定数の削減や議員報酬の減額などが話題になるが、それは執行部で言えば決裁の方法をどうするか、というような内部運営の問題であって、肝心の住民との関係が忘れられているのではないかと、という指摘をされていました。

議会のミッシェンを住民との関係

においてどのように自覚するかが議会改革の意義であるということです。議会や議員は誰のために存在するのか、そのために見直すべき点は何か。このような議会のミッシェンを明らかにし、そのための方策を住民に明らかにするのが議会基本条例です。したがって議会基本条例の内容はそれぞれで違ってくるのが本来のあり方だと考えます。

ミッシェンを自覚するうえで基本的視座とすべきは繰り返しになりますが住民との関係です。住民の声をスピーディーかつ効率的に反映し、的確に問題解決を図っていくことが議会の使命ではないでしょうか。

かつて、議会改革のトップランナーを自負していた議会が住民にアンケートを実施したところ、回答の中に、議会改革を積極的に行っているそうだが我々の生活がそれによって変化したことは全くない、という意見があり、それを読んだ議員はがっかり

していたことを覚えています。この議会は住民に対する発信、つまり住民に見える議会とすることの配慮が足りなかったのではないのでしょうか。議会のミッシェンを住民に明らかにするために、それぞれの議会にキャッチフレーズを付けてはどうでしょうか。例えば、「信頼される議会」「生産性の高い議会」「行動する議会」などです。

「信頼される議会」とは、議会の問題解決過程を住民に明らかにしながら問題意識を住民と共有し、その結果出した結論が住民の信頼に足るものであることを意味します。本会議における質問や質疑を議員個人の成果に留めるのではなく、住民に対して行政上の課題を明らかにするものと位置付け、執行部の答弁の結果得られた課題を議会として整理し、委員会において精査する。その際、住民との意見交換などを通して住民意思も反映させ、議会としての解決

策を探り、具体的な提案を行います。そのようなプロセスを経たうえで議決に至ることで、議会に対する住民の信頼を得ることができるとはないうでしょうか。

特に、財政難から住民サービスを縮小したり、税や手数料を引き上げるような提案に対して、なぜ執行部はそのような提案を行うのか、それを実施しないと将来どうなるのかを、議会審議を通して住民に明らかにし、参考人制度を活用して住民のさまざまな意見を聞いたうえで結論を出すことによって、議会としては十分検討してくれた、ということを示すことが必要ではないでしょうか。

「生産性の高い議会」とは、住民が抱えている問題を議会や議員が的確に把握し、議会として問題点を整理し解決策を委員会等で調査したうえで執行部に政策提案を行い、執行部とともに迅速な問題解決に努力する議会です。その前提として議員は

住民の抱える課題に聞き耳を立て、小さな声も拾っていくことが必要になります。

「行動する議会」とは、課題解決のためには問題によつては積極的に行動することを辞さない議会です。

例えば災害時において住民間で生ずるさまざまなトラブルを解決するためには住民代表である議員がその仲裁を行うことが有効であるとされています。また廃棄物処理場などいわゆる迷惑施設が、その自治体にとって本当に必要なものであれば、議員が住民の説得にあたることも考えられます。

以上のようなキャッチフレーズはほんの一例ですが、共通するのは住民代表という特性を活かし住民とのフィードバックを繰り返し、議会が住民が抱える課題解決の中心に立つということなのです。

議会の役割には住民代表機能、政策提案機能そして監視機能の三つがあるとされています。このうちどれ

が優先するかということではなく、バランスよく役割を果たすことが必要ですが、それぞれの議会が今何が欠けているかを自覚し、どのような方策を導入すれば補えるのか。その際忘れてならないのは住民に成果を還元することです。議会審議の結果が住民生活に大きな影響を与えることを実績で示すことにより「議会の見える化」を実現することが今後の課題です。

理事 内田 一夫

元全国都道府県議会議長会
事務局次長 議事調査部長

次回は

「議会改革の検討機関」
を予定しています。

第232回速記技能検定のお知らせ

☆日 時 令和8年2月22日（日）

午前の部（6級、4級）10：00 受付開始

午後の部（5級、3級）13：00 受付開始

オンライン方式（I B T型）

インターネットを通じて、自宅、事業所、学校、共練会会場で受検していただく方式です。

◎今回から、

複数級の受検ができるようになりました。

（例 午前4級、午後3級）

タブレットでの受検ができるようになりました。

☆実 施 級 3級から6級まで

☆受 検 料 3級 4,000円 4級 3,000円
5級 2,500円 6級 2,000円

☆受付期間 1月1日～2月10日（必着）
※申込み方法は日本速記協会HPをご覧ください。

☆朗読速度・朗読時間・反訳時間等一覧表

	3 級	4 級	5 級	6 級
分 速（字）	240	180	120	80
朗読時間（分）	5	5	5	5
総 字 数（字）	1200	900	600	400
反訳時間（分）	60	60	60	60
正 確 度（%）	97	97	96	96
許容失点（字）	36	27	24	16

☆合格者の登録・認定等

- ・合格者は、協会備付けの合格者名簿に登録する。
- ・合格者は、履歴書の「資格」欄へ以下のように記載できる。
「〇年〇月〇日 文部科学省後援、日本速記協会認定第〇回速記技能検定〇級合格」

☆次の検定予定

第233回 令和8年5月31日（日）札幌、盛岡、東京、名古屋、大阪、福岡

☆問合せ先

〒171-0033

東京都豊島区高田3-10-11 KGビル4階

公益社団法人 日本速記協会

電話 03-6205-9701

e-mail info@sokki.or.jp

「日本の速記」2025年総目次

2025年1月号 通巻1014号

表紙 『太子伝暦』 千葉大二郎・硬軟	
年頭所感「因循姑息にけりをつけて」 理事長 保坂 正春	1
役員挨拶	2
シリーズ 議会豆知識58「議会事務局の役割」 理事 内田 一夫	4
第227回速記技能検定結果 講評 問題文	6
まほろば速記通信③「第4回奈良速記芸術祭を開催しました」 前川 純二	10
「かぞ生涯学習フェスティバル2024」に出展しました	16
第115回全日本大学速記競技大会実施報告 採点審査委員長 山城 佐助	18
第5回速記交流合宿開催のお知らせ	20
「日本の速記」のデジタル化について 広報委員長 保田 良春	22
令和7年度第2回定例理事会 議事概要	24
コラム 「POPEYE」に速記者登場	26
寄附のお願い	27
「日本の速記」2024年総目次	28
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
第228回速記技能検定のお知らせ	

2025年2・3月号 通巻1015号

表紙 『水中蒙古』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言「速記技能検定の現場から」 業務執行理事 佐藤 俊紀	1
シリーズ 議会豆知識59「議員派遣と委員派遣① ― 委員派遣 ―」 理事 内田 一夫	2
まほろば速記通信③「クリスマス学習会と新年学習会」 前川 純二	4
生字幕の現場 YouTubeで紹介 理事 山崎 恵喜	6
第115回全日本大学速記競技大会 優勝者・運営の声 採点審査委員長 山城 佐助	12
第5回速記交流合宿 報告 山田 雪乃	14
法人ブロック等懇談会開催 理事長 保坂 正春	18
「日本の速記」HP掲載と印刷部数削減に御協力ください	22
第1回速記茶話会開催 人間の言語処理能力を考える！ 兼子 次生	24
速記茶話会の報告から① 会議録テキストを用いた議会映像配信への字幕付与 京都大学教授 河原 達也	25
令和7年度第3回定例理事会 議事概要	29
寄附のお願い	31
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
第229回速記技能検定のお知らせ	

2025年4月号 通巻1016号

表紙 『誕生像』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言「地方議会との関係」 業務執行理事 佐藤 俊紀	1
シリーズ 議会豆知識60「議員派遣と委員派遣② ― 議員派遣 ―」 理事 内田 一夫	2
まほろば速記通信③「日本速記協会にクラブ活動を」 前川 純二	4
第228回速記技能検定結果 講評 問題文	6
速記茶話会の報告から② 文字と速記の相互運用性 ～速記史料の第三者解読～ 兼子 次生	12

TBSテレビ番組「ニノなの」に出演しました。 松川ゆきえ 根津 更	18
第5回速記交流合宿 報告2 参加者の声	22
小谷征勝さん「速記あるある」本を上梓	27
令和7年度第2回臨時理事会 議事概要	28
「日本の速記」デジタル化と今後の進め方について	30
寄附のお願い	31
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
「あんぱん」と速記／第229回速記技能検定のお知らせ	

2025年5月号 通巻1017号

表紙 『スキップーズ』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言 「検定受検者増に向けて」 理事 久住 和輝	1
シリーズ 議会豆知識61「質問通告① — その意義 —」 理事 内田 一夫	2
まほろば速記通信33「自分でも文章を書きたくなった」 前川 純二	4
第57回全国高等学校選抜速記競技大会を開催 理事 中根 康雄	6
令和6年度速記交流競技会報告(第2部) 理事 中根 康雄	11
速記茶話会の報告から③「AI時代の英語教育—文体への意識」 京都府立大学副学長 山口 美知代	20
第6回 速記交流合宿のお知らせ	23
朝ドラ・ヒロインは中根式速記の達人だった 理事長 保坂 正春	24
保田さん 初めての著書を発行	26
「日本の速記」を購読されている皆様へ	27
賛助会員としてのご支援のお願い	28
寄附のお願い	29
令和7年度第4回定例理事会 議事概要	30
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
第229回速記技能検定のお知らせ	

2025年6月号 通巻1018号

表紙 『あんぱん』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言 「速記の魅力と協会の意義」 理事 有次 勇	1
シリーズ 議会豆知識62「質問通告② — 課題 —」 理事 内田 一夫	2
まほろば速記通信34「速記芸術宣言」 前川 純二	4
選手団代表の中山氏が1位に！ インテルステノ・オンライン競技報告 兼子 次生	6
横浜共練会活動報告 山田 雪乃	9
V式の魅力 伊達 大誠	12
寄稿 一羽の蝶の羽ばたき⑧ 「これも愛、あれも愛」後編 穂積 輝子	14
閑閑戦、6年ぶりの復活 ～関西大学文化会速記部より～	16
令和7年度新歓レポート ～早稲田大学編～	18
第6回速記交流合宿開催のお知らせ(詳細) 山田 雪乃	20
朝ドラ『あんぱん』のヒロインのモデルに関する新事実 理事 中根 康雄	22
朝ドラ『あんぱん』連動「速記をやってみよう！」キャンペーン 理事 有次 勇	24
【検証】ダイニングメッセージを速記で書けば、大量の情報が残せる説 記事になりました！ 松川ゆきえ・根津 更	26
「日本の速記」を購読されている皆様へ(続)	29

賛助会員としてのご支援のお願い	30
寄附のお願い	31
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
第230回速記技能検定のお知らせ	

2025年7月号 通巻1019号

表紙 『ラビリンス』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言「伝統と文化のはざまで」 理事 大熊 克彦	1
シリーズ 議会豆知識63「動議と議案」 理事 内田 一夫	2
第229回速記技能検定結果 講評 問題文	4
佐賀商速記部が地元テレビで紹介されました	15
6年ぶりの関関戦 レポート 関西大学文化会速記部	16
まほろば速記通信35「速記者をした4年間の思い出」 前川 純二	18
日本語のかな漢字テキストとローマ字テキストのタイピングにおける変換係数について 京都大学 河原 達也	20
朝ドラ『あんぱん』連動「速記をやってみよう！」キャンペーン 理事 有次 勇	26
令和7年度第5回定例理事会 議事概要	28
賛助会員としてのご支援のお願い	30
寄附のお願い	31
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
第230回速記技能検定のお知らせ	

2025年8・9月号 通巻1020号

表紙 『游泳童論』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言「記録の質とは何か」 理事 山崎 恵喜	1
議会豆知識64「討論と議論」 理事 内田 一夫	2
まほろば速記通信36「英会話を日本の速記文字で速記する」 前川 純二	4
第95回全国高等学校速記競技大会 中根 康雄	6
第6回速記交流合宿 報告 ～初めての東京開催～ 山田 雪乃	11
～北海道からの報告～ 恒例 速記・字幕合同研修会 inさっぽろ 北海道ブロック長 高井 京太	14
NHK連続テレビ小説『あんぱん』放送に伴う広報活動の効果分析 理事 有次 勇	20
寄稿 「あんぱん」と速記 藤原 美和子	22
第77回研修会のお知らせ	24
令和7年度第3回臨時理事会 審議概要	26
— 協会存続に向けて — ご協力をお願いいたします	28
「発言どおり」って何だろう？ ～ら抜き言葉と仲間たち～ 編集部	30
コラム 「FMわたらせ番組「加須ストリート」に出演」	31
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
令和7年「速記の日」記念イベントのお知らせ	
第231回速記技能検定のお知らせ	

2025年10月号 通巻1021号

表紙 『pictorial calligraphy』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言「レガシーを残す」 理事長 保坂 正春	1

議会豆知識65「討論」 理事 内田 一夫	2
第230回速記技能検定 報告 講評 問題文	4
令和7年度速記技能検定成績優秀者	15
第6回速記交流合宿報告 その2	
参加者の声	16
令和8年度事業計画	20
令和8年度収支予算書	24
協会の現状と課題 ～事業計画の策定に当たって～ 理事長 保坂 正春	26
令和7年度第6回定例理事会 議事概要	29
令和7年 速記交流祭のご案内	31
協会本部日誌／伝言板／編集後記	32
第231回速記技能検定のお知らせ	

2025年11月号 通巻1022号

表紙 『カイダン』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言「速記に寄り添う」 理事 大橋 恵一	1
シリーズ 議会豆知識66「懲罰動議」 理事 内田 一夫	2
第77回全国議事記録議事運営事務研修会概要報告	4
第13回全国学生新人速記競技大会 報告	11
まほろば速記通信⑦「第5回奈良速記芸術祭を開催しました」 前川 純二	18
岩倉市郎の速記資料を新たに発見・解説の報告 真下 厚 中根 康雄	22
令和8年度第1回定例理事会 議事概要	26
協会本部日誌／伝言板／編集後記	28
年会費納入のお願い／第231回速記技能検定のお知らせ	

2025年12月号 通巻1023号

表紙 『Windmills』 千葉大二郎・硬軟	
巻頭言「用字例という財産」 理事 鷲尾みなみ	1
シリーズ 議会豆知識67「懲罰の手続き」 理事 内田 一夫	2
まほろば速記通信⑧「奈良速記学習会を開催しました」 前川 純二	4
令和7年度 速記技能検定成績優秀者表彰式	6
令和8年度通常総会 令和7年度決算報告を承認	9
令和7年速記交流祭報告（その1）	14
同 参加者の声	20
令和7年度 学園祭レポート	
早稲田大学編	22
関西大学編	25
SOKKI FES潜入ルポ	
創立90周年の川口学園 専門学校学園祭で速記の展示と実演	27
「日本の速記デジタル版」の公開について	29
協会本部日誌／伝言板／編集後記	30
第7回速記交流合宿のご案内／第232回速記技能検定のお知らせ	

第7回速記交流合宿のお知らせ～東京開催～

おかげさまで、第7回速記交流合宿を開催できることになりました。

初心者の方も大歓迎ですので、御興味のある方ぜひ来てください。

詳細が決まりましたら、ホームページで随時情報を更新していきますので、御確認ください。

【ひたすら速記漬けの日々を】

・日 時 令和8年2月20日（金）～23日（月・祝）

・場 所 東京

・企 画

2月20日（金） 午前・午後・夜 練習会

21日（土） 午後 第4回速記競技大会（スパイカップ、団体戦を予定）

22日（日） 午後 第232回速記技能検定分試験（会場型）

夜 懇親会

23日（月・祝） 昼 ランチ会

・費 用

①参加費 一般 2,000円

日本速記協会会員 1,000円

（当日受付の方は手数料500円追加）

②速記技能検定受検料 各級ごとによる

③懇親会費 4,000円

④ランチ会 1,500円

・申込み方法

申込みフォームに御記入いただくか、

メールで御連絡ください。

メールアドレス sokkibiyori@gmail.com

代表 山田雪乃



申込みフォームの
QRコードです。

日本の速記 2026年1月号

発行日 令和8年1月1日

発行人 保坂 正春

編集人 保田 良春

発行所 公益社団法人 日本速記協会

〒171-0033

東京都豊島区高田3-10-11 KGビル4階

電話 03(6205)9701 F A X 03(6205)9702

Eメール info@sokki.or.jp https://sokki.or.jp/

印刷所 日本印刷株式会社 〒170-0013

東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル

新年おめでとうございます
皆様のご健康とご多幸を心からお祈りいたします



令和8年 元旦 公益社団法人 日本速記協会

「日本の速記」 令和8年1月1日発行 (毎月1回1日発行) 第107年通巻1024号